

# MUSIC LIFE

ロック黄金時代 & トリビュートライブ情報 ミュージックライフ

**TAKE FREE**



**STEVEN TYLER & JOE PERRY  
[AEROSMITH]**

**AEROSMITH 『ドロー・ザ・ライン』  
リリース直後、最強全米No.1バンドの  
インタビューを復刻!**

**Tribute Band Festival  
開催決定!**

**MUSIC LIFE CLUB発足記念号  
musiclifeclub.com**

**2018  
SPRING  
ISSUE**

ミュージック・ライフ 2018春号(無料)  
RAINBOW&AEROSMITH Photo by MUSIC LIFE ARCHIVES/KOH HASEBE  
発行: SHINKO MUSIC ENTERTAINMENT/LEGEND OF ROCK/duo MUSIC EXCHANGE  
この冊子の記事・写真の無断転載は固くお断りします。  
記事、広告の掲載と配布に関するお問い合わせは info@legendofrock-show.com まで

# MUSIC LIFE

ロック黄金時代 & トリビュートライブ情報 ミュージックライフ

**TAKE FREE**



**RAINBOW日本公演の  
衝撃が今、蘇る**

**Thanx Cozy Powell,  
Tribute To Rainbow  
Show&Exhibition 開催決定!**

**MUSIC LIFE CLUB発足記念号  
musiclifeclub.com**

**2018  
SPRING  
ISSUE**

発行: SHINKO MUSIC ENTERTAINMENT/LEGEND OF ROCK / duo MUSIC EXCHANGE

## RAINBOW

### 2度目の来日時、実現したリッチー・ブラックモア独占インタビューを復刻

1978年1月、リッチー・ブラックモア、ロニー・ジェイムス・ディオ、そしてコージー・パウエルという最強の三頭政治体制で実現したレインボー二度目の来日公演。マスコミ嫌いで知られ、めったに取材を受けないリッチーが素顔の一端を垣間見せたのが、このインタビューだ。(ミュージックライフ 1978年3月号より抜粋復刻)



コンサート前、メンバー全員にゴールド・ディスクが授与された。左からロニー・ジェイムス・ディオ (Vocal) リッチー・ブラックモア (Guitar)、ボブ・デイスリー (Bass)、コージー・パウエル (drums)、デヴィッド・ストーン (keyboards)

インタビューが行われたのは1978年1月26日、札幌。この日はオフでメンバーもツアーの疲れを癒すかのように、思い思いの余暇を過ごしていた。ドラムスのコージー・パウエルは根っからのスポーツマンらしく、昼から勇んで近くのスキー場に出かけていった。リッチーは夕方から、市内で行われたクラシック・コンサートに出かけた。夜10時、ホテルの12階のバーで待つ私達の前に、彼は姿を見せた。以下は、そのリッチー・ブラックモアとの対話をできるだけ忠実に再現したものである。

—あなたは16世紀頃の音楽が好きだということですが……。

リッチー：僕はあらゆる古い音楽に興味があるんだ。13世紀頃のものや、16～17世紀のバロック音楽は特に好きだね。作曲家ではバッハが一番好きだ。でも、それとレインボーで僕がやっている音楽とはまったく別もので、クラシックを好きだということ、特にレインボーの音にそれを意識しているつもりは全然ないんだ。

—レインボーの新作(邦題『バビロンの城門』)は、前作と比べてどんなものになりますか？

リッチー：僕達のアルバムは、ほとんど同じ音楽的要素で貫かれているから、それほど大きな変化はないと思うけれど…、とにかく僕のギター・ソロで始まるってのは君達も知っているだろう？まあ、どこかしら毎回ちがうんだが…ウーン難しい質問だね。今、ここで詳しくあれこれ説明できないけれど、前作とは違うが、僕達のサウンド自体には大きな変化はないということになるかな。

—今回のコンサードでは、新作から「ロング・リヴ・ロックン・ロール」という曲を演奏しましたね？

リッチー：その曲のタイトルが、そのまま次のアルバムのタイトルなんだ。作曲は僕で、ロニーがまともあげたんだよ。

—フランスのシャトー(城)で録音したそうですが、

リッチー：そうだよ、よく使うんだ。2枚目のアルバムもそこでやって調子がよかったもので、又使ったというわけさ。とても古い城で、本当に幽霊が出るんだよ(笑)。それで、とても気に入ってね(笑)。17世紀頃に建てられた城で、昔ジョバンも使ったことがあるんだ。ところが、あまりに雰囲気良すぎて、時にはレコーディングなんかよりも、もっと他にやりたいことができてしまうんだ。フット・ボールやゲームやら色々だね。だから自分達に“おい、録音が先だぞ！”という聞かせなければならぬのさ。

—日本のファンはハードなものも好きですが「キャッチ・ザ・レインボー」のように美しいメロディーのナンバーも好きなんです。

リッチー：それはうれしいね。新しいアルバムにも1曲あるよ「Girl With a Rainbow Eyes」という曲でロニーが作詞、僕が作曲したんだ。ストリングスと2本のフルートを使ってね。ストリングスのアレ

ジは、ドイツにいる僕の友人に頼んだ。虹の瞳を持った少女の物語だ。

—子供の頃はどんな音楽を聞いてました？

リッチー：クラシック以外で？そうだなあ、エルビス・プレスリーとか、すべてのロックン・ロールだね。

—クラシックのレッスンを受けたことは？

リッチー：1年間クラシックを勉強したよ。でも自分がどんな方向を志すかを決心した時にロックの方を選んだんだ。

—現在何本位ギターを持っていますか？

リッチー：6～7本ってところじゃないかな。ステージでは、今のところフェンダーを使っているんだが、そのうち変えるつもりなんだ。

—ギブソンはどうですか？

リッチー：実はギブソンは10年前に使って今ももう使っていない。僕が思うにギブソンはジャズ用のギターで、ロックには向いていないよ。特にレインボーのようにハードで更にメロディアスな音楽にはね。

—オールド・モデルとニュー・モデルではどちらが好きですか？

リッチー：オールド・モデルは好きじゃない。新しいモデルの方が、技術的な面でいいからね。ミュージシャンの中には、古いモデルを使って気どってるものいるが、ギターでアンティックってのはほいほいじゃないよ。つまり“No Guitar”はよくないけれど“New Guitar”ってのは、一番ミュージシャンに向いている言葉だよ。

—日本製のギターはどうですか？

リッチー：日本のギター？ ああ、そうだ、すごくいいのがあるよ。エレファントっていうんだ。

—エレファント？ そんなメーカー聞いたことありませんよ。

リッチー：そう、ウソだよ(笑)。デタラメをいったんだよ。君達をかついだのさ。(と、やたらと嬉しそうに笑う)ヤマハを一度使ってみようと思っているんだ。

—かなりキツイ冗談でしたね(と、こちらは虚しい笑い)。アンプやアタッチメントは？

リッチー：一番騒々しいアンプ、マーシャルを8年間使っているよ。マーシャル社の社長の知り合いがいてね。そいつは昔ドラマーで、以前ジミ・ヘンドリックと演奏していたドラマーのミッチ・ミッチェルの友人なんだ。そんな関係で知り合ったやつなんだよ。ア

タッチメントに関しては、フェイザーとエコーは、テープから自分で作ったよ。リピートにはテープ・エコーがベストだよ。

—日本のギタリスト志望の若者に何かアドバイスありますか？

リッチー：なんでもいいから、他人から何かを学べ、他のプレイヤーからね。ただし1～2年の間だけだ。そしてそれを自分のものにして。それ以上は絶対にコピーするな。自分のものにしたあとでプレイしろ、それだけだ。ジミ・ヘンドリックスの2代目、第2のなんとなんてのは誰にでもなれるのさ。だからこそ、自分自身でなければ意味がないんだ。

—あなたは相当なインタビュー嫌いのマスコミ嫌いだそうですね。

リッチー：プライバシーを大切にしたいだけさ。大体マスコミってのは、何でも批評したがる。

—私達は批評よりも、まず紹介をしたいと思ってますけれど。

リッチー：そう、それは正しい考えだよ。日本の雑誌ってのはその点いいね。たとえ、何かくだらない批評が載っていても、どうせ僕には読めないからね(笑)。ミュージックライフは、写真がたくさんあっていいよ。

## RAINBOW 1978年 日本公演演奏曲目

1. 虹の彼方に (Over the Rainbow)
2. キル・ザ・キング (Kill the King)
3. ミストゥリーテッド (Mistreated)
4. 16世紀のグリーン・スリーブス (16th Century's Green Sleeves)
5. 虹をつかもう (Catch the Rainbow)
7. ロング・リヴ・ロックン・ロール (Long Live Rock'n Roll)
8. 銀山の覇者 (The Man of the Silver Mountain)
9. スティル・アイム・サッド (Still I'm Sad)
10. クローズ・ユア・アイズ [アンコール] (Close Your Eyes)

## DioKen がオススメする CD & DVD レビュー



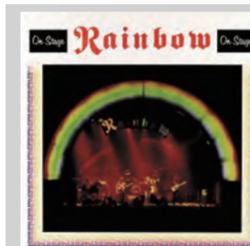
レインボー『バビロンの城門』  
規格品番: UICY-25167  
JANコード: 4988005688927  
価格: ¥1,851-(税込)

1978年発表。代表曲「Kill The King」、「Long Live Rock'n Roll」、「Gates Of Babylon」を収録した3rdアルバム。この頃からRainbowもPVが制作するようになる。レコーディング中にしばらく空位になったベーシストの穴を埋めるためにリッチーが弾いたベースもそのまま収録されている。欧州での売れ行きが好調だったのに対し米国での売れ行きは伸び悩み、この事から黄金の三頭政治時代は終焉に向かって行く。それを踏まえお聴き頂ければまた違った印象になるかも知れませんね。



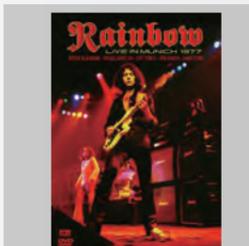
コージー・パウエル『オーヴァー・ザ・トップ』  
規格品番: UICY-25637  
JANコード: 4988031147542  
価格: ¥1,851-(税込)

1979年発表。コージー初のソロアルバムにして最高傑作のインストアルバム。ロニーもRainbowを去り、リッチーと二人残ったコージーに、ソロアルバム制作の話を持ちかけたのは日本人だった。そこへ集まった仲間がゲイリー・ムーア、ジャック・ブルース、ドン・エイリー他の超豪華メンバー達。凄まじいテクニックがぶつかり合う「Killer」、1812を含む「Over The Top」、名曲「The Loner」等、必聴盤！



レインボー『オン・ステージ』  
規格品番: UICY-25166  
JANコード: 4988005688910  
価格: ¥1,851-(税込)

1977年発表。1976年12月の初来日公演を中心に一部9月のドイツ公演のテイクが収録された、いわゆるリッチー、ロニー、コージーの三頭政治時代のRainbow初のライブアルバムにしてROCK史上に残る名盤。イントロ～当時まだ未発表の新曲「Kill The King」はRainbowの代名詞でもあり圧巻の一言。多くのロックファンやミュージシャンにも影響を与えた。是非ともお聴き頂きたい一枚。



レインボー『ライブ・イン・ミュンヘン1977』  
規格品番: VQBD-10125  
JANコード: 4562387190881  
価格: ¥2,880-(税込)

1977年10月20日のミュンヘンでのライブ映像。『オン・ステージ』に比べ曲目は2曲増えているのだが、コージーの伝説のドラムソロや、二日前のオーストリア公演で逮捕され、留置所から大幅に時間を押して0時近くに直行で会場入りし、そのままステージに上がったリッチーの怒り爆発のギタークラッシュからエンディングと、これを観ずにRainbowは語れない。いや、Rockは語れない！



新星堂 WonderGOO

ご購入はこちらから  
<https://www.rakuten.ne.jp/gold/wondergoo/>

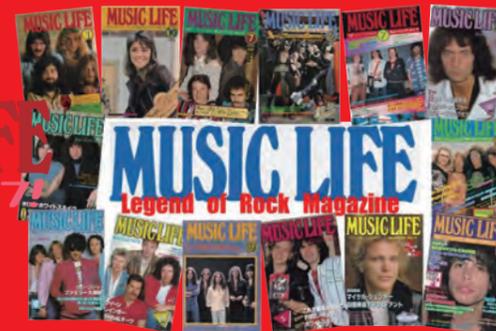


## ミュージックライフ世代の洋楽ファンの皆様へ MUSIC LIFE CLUB 発足のお知らせ

ザ・ビートルズから、レッド・ツェッペリン、クイーン、ジャパン、キッス、エアロスミス、ヴァン・ヘイレン、そしてデュラン・デュランまで。ロック黄金時代を雑誌ミュージックライフと共に過ごされた音楽ファンの皆様に嬉しいお知らせです。

2018年4月14日“MUSIC LIFE CLUB”がスタートします。洋楽ファンの皆さんのための会員組織で入会は無料！会員登録していただいた方には、60年代から80年代に活躍した洋楽アーティストのライブ・スケジュールや本やCDの発売情報を定期的にメールマガジンでお知らせします。現在、メルマガ先行会員募集中です。

[musiclifeclub.com](http://musiclifeclub.com)



SHINKO MUSIC RECOMND BOOKS

## 『Rainbow LIVE TOUR IN JAPAN 1976-1984』

A4判 304ページ 定価2400円+税 発売中

ブラックモア・フリーク驚喜！未使用・初公開写真多数で綴るレインボー来日公演のリアル・ドキュメント！2016年の“モンスターズ・オブ・ロック”出演を契機に、レインボーを復活させたリッチー・ブラックモア。2018年のロシア他公演決定の報せを受け、来日を願うファンの期待は高まるばかり。そんな彼の全盛期とも言えるオリジナル・レインボー期に実現された計6度の来日ツアー時に、『MUSIC LIFE』『YOUNG GUITAR』で撮影された多数の未発表ショットを圧巻のヴォリュームで一挙に蔵出し公開！ページを捲る度にブラックモア、

ディオ、コージー他の歴代メンバー達が繰り広げた迫真のパフォーマンスが鮮烈に蘇ります。オリジナル・レインボーによる来日公演の記録が、これほどまでに豊富な写真とマニックな筆致で編纂される機会は今二度とないと断言できる、資料価値も抜群のヴィジュアル&データ・ムック！

ご購入はこちらから  
<https://www.shinko-music.co.jp/item/pid1645537/>





## MUSIC LIFE CLUB presents LEGEND OF ROCK

~Thanx Cozy Powell, Tribute to Rainbow~

コージー・パウエル没後20年そしてデビュー50年を称える感謝祭の様相と共に、MUSIC LIFE CLUB 発足記念イベントを開催します。コージー・パウエルといえども思い出されるのがRAINBOW、また、そのRAINBOWを結成した、リッチー・ブラックモアの誕生日でもあるこの日は、Ronnie James Dio の Tribute Actorとして国内はもとより世界的に有名な Dioken を筆頭に、日本の HR/HM シーンを支えた重鎮凄腕ミュージシャンが集結。Dr. 工藤"KUDO" 義弘 (EARTHSHAKER)、Gt. Kelly SIMONZ (Kelly SIMONZ's BLIND FAITH)、Ba. 寺沢 功一 (RIDER CHIPS, ex. BLIZZARD、SLY)、Key Jill 岡垣 (Jill's Project、Aphrodite、ex.TERRA ROSA)を迎え、Rainbow Tribute Special Unit による Tribute Show が実現！更に写真展示を中心とした Exhibition 等、盛り沢山の内容でお届け致します。お楽しみに。

We are going to hold the MUSIC LIFE CLUB launch event with Cozy Powell's 20th anniversary of his passing and the 50th anniversary of his debut. Cozy Powell reminds you of RAINBOW. Also the event coincides with the birthday of Ritchie Blackmore (who had formed of RAINBOW). With Dioken (world famous tribute actor of Ronnie James Dio) at the top of the list, many other top-class musicians will get together for this day. This Tribute Show by Rainbow Tribute Special Unit will feature Kudo "KUDO" → Yoshihiro (EARTHSHAKER) on drums, Kelly SIMONZ (Kelly Simonz's Blind Faith) on guitar, Koichi Terasawa (RIDER CHIPS, ex. BLIZZARD, SLY) on bass, Jill Okagaki (Jill's Project, Aphrodite, ex. TERRA ROSA) on keyboard. There shall be many other attractions, including a photo exhibit in the event. Why not come and see it!

### Show&Exhibition MUSIC LIFE CLUB presents LEGEND OF ROCK ~Thanx Cozy Powell, Tribute to Rainbow~

日程: 2018年4月14日(土) チケット予約  
会場: 渋谷 duo MUSIC EXCHANGE  
時間: 開場 15:00 開演: 19:00  
出演: Rainbow Tribute Special Unit  
内容: Tribute Show/Exhibition/Talk Show/and more  
料金: 前売り ¥5,000 当日 ¥5,500 共に1 drink別  
共催: LEGEND OF ROCK 実行委員会 / (株)シンコーミュージック・エンタテイメント  
後援: ROCK & ROLL HALL OF FAME JAPAN 特別協力: MUSIC LIFE CLUB

Date: Saturday, 14 April 2018 Ticket Reservation  
Venue: Shibuya duo MUSIC EXCHANGE  
Time: OPEN 15:00 / START 19:00  
Act: Rainbow Tribute Special Unit  
Contents: Tribute Show/Exhibition/and more  
Ticket: ADV. 5,000JPY DOOR. 5,500JPY (without 1 DRINK)  
Co-host: LEGEND OF ROCK Executive Committee / SHINKO MUSIC ENTERTAINMENT CO., LTD.  
Supporter: ROCK & ROLL HALL OF FAME JAPAN Special Cooperation: MUSIC LIFE CLUB

#### SHINKO MUSIC RECOMMEND BOOKS

## レジェンダリー・ドラマー

特集 ● コージー・パウエル



“Thanx Cozy Powell, Tribute to Rainbow” の開催を記念して、レジェンダリー・ドラマー・シリーズのコージー・パウエルが増補改訂版として再発売が決定！

また今回のイベントと連動して、本とイベントのチケットにメモリアル写真を組み合わせたスペシャル・セットの販売も予定しています。スペシャル・セットの詳細は2月下旬、シンコー・ミュージックのHPにて発表いたします。お楽しみに。

レジェンダリー・ドラマー  
特集 ● コージー・パウエル

[増補改訂版] 3月29日発売 2,400円+税

ご購入はこちらから  
<https://www.shinko-music.co.jp/>



### Cheap Track as Cheap Trick 白蛇海賊団 as WHITESNAKE OPERATION DP as DEEP PURPLE Mark 3

MUSIC LIFE CLUB 発足記念イベント第2弾の今回は国内最大級のトリビュートバンドフェスを開催！  
MUSIC LIFE ではお馴染みのアーティストのショーの再現は是非ともご体験頂きたいエンターテインメントです。  
クラシックロックが世界的に再評価されてる昨今、欧米ではトリビュートショーが流行のエンターテインメントの1つとなっています。

古きを尋ねて新しきを知る、まさに温故知新！

日本の誇るトリビュートバンド達による最高の擬似体験型再現ショーをご堪能下さい。

MUSIC LIFE CLUB 2nd launch party is the largest tribute bands festival in Japan!  
You must see reproductions of the shows for artists who are familiar with MUSIC LIFE.

Recently the classic rock has been reevaluated globally and,  
the tribute bands show is one of the fashionable entertainments in Europe and the United States.

We study old times to learn modern times! Please enjoy the best PSEUDO EXPERIENCE reproduction show by Japanese tribute bands.



### THE LIBERATION as JOURNEY エアロざます。 as AEROSMITH AD/CD as AC/DC and more...

### Tribute Band Fes MUSIC LIFE CLUB presents LEGEND OF ROCK CW SPECIAL '18

日程: 2018年5月4日(金:祝)  
会場: 渋谷 duo MUSIC EXCHANGE  
時間: 開場 13:30 開演: 14:00

チケット予約



出演: エアロざます。 as AEROSMITH  
Cheap Track as Cheap Trick  
THE RIBERATION as JOURNEY  
白蛇海賊団 as WHITESNAKE  
OPERATION DP as DEEP PURPLE Mark 3  
AD/CD as AC/DC and more...

料金: 前売り ¥3,500 当日 ¥4,000 共に1 drink別  
学生は学生証提示で ¥1,000 + 1 drink  
小学生以下は保護者同伴の上、Drink代のみで入場可(要1D)

後援: ROCK & ROLL HALL OF FAME JAPAN  
特別協力: (株)シンコーミュージック・エンタテイメント/MUSIC LIFE CLUB

Date: Friday, 4 May 2018  
Venue: Shibuya duo MUSIC EXCHANGE  
Time: OPEN 13:30 / START 14:00

Ticket Reservation



Act: AEROZAMASU. as AEROSMITH  
Cheap Track as Cheap Trick  
THE RIBERATION as JOURNEY  
SHIROHEBIKAIZOKUDAN as WHITESNAKE  
OPERATION DP as DEEP PURPLE Mark 3  
AD/CD as AC/DC and more...

Ticket: ADV. 3,500JPY DOOR. 4,000JPY (without 1 DRINK)  
1,000 JPY + 1 drink on presenting your student ID card

Supporter: ROCK & ROLL HALL OF FAME JAPAN  
Special Cooperation: SHINKO MUSIC ENTERTAINMENT CO., LTD. / MUSIC LIFE CLUB



**JOURNEY**  
アルティメット・ベスト  
～グレイテスト・ヒッツI&II  
規格品番: S1CP-30143  
JANコード: 4547366192261  
価格: ¥3,086- (税込)



**WHITESNAKE**  
ザ・パープル・ツアー・ライヴ  
規格品番: WPZR-30779  
JANコード: 4943674274765  
価格: ¥3,780- (税込)



**Cheap Trick**  
ウィア・オール・オーライト!  
規格品番: POCs-24012  
JANコード: 4988031230763  
価格: ¥2,808- (税込)



**Deep Purple**  
カリフォルニア・ジャム 1974  
規格品番: GQBS-90234  
JANコード: 4562387201990  
価格: ¥4,536- (税込)



**Aerosmith**  
エアロスミス ロックス・ドニントン 2014  
規格品番: GQXS-90031  
JANコード: 4562387198559  
価格: ¥8,100- (税込)



ご購入はこちらから  
https://www.rakuten.ne.jp/gold/wondergoo/  
**新星堂WonderGOO**

# スティーヴン・タイラー [AEROSMITH] インタビュー

初来日から約1年後の1978年、全米No.1のモンスターバンドに成長し、代表作『ドロー・ザ・ライン』を引っ提げての全米ツアー中のエアロスミスをミュージックライフが現地取材。アラバマ州でのライブ終了後、当時の恋人、シリнда・フォックスとくつろぐスティーヴン・タイラーの独占インタビューに成功した。(ミュージックライフ 1978年5月号より抜粋復刻)



それもある意味では、バンドとしてプラスにはなっていると思うけどね。僕達のサウンドは、ものすごいロックン・ロールだからね。メンバーの気持ちの根底に“ロックン・ロール”という共通のものがある限り、なにも問題はないよ。それに、僕は自分1人がビッグ・スターだなんて思っちゃいないしね、エアロスミスは5人全員がビッグ・スターなんだ。

——そういえば、エアロスミスとして、ついに映画デビューを飾ったわね?

スティーヴン: そう、デビューさ!(笑)。例の“サージェント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド”のことだろう? 楽しかったよ! とにかく初めての経験だろう? 映画の仕事ってスケールがでかいんだよ。僕は悪人の役をやったんだけどね(笑)。30フィートものステージ・セッティングの中でビートルズの「カム・トゥゲザー」を演奏したよ。僕達の役どころは悪人といっても“未来の悪人”だね。ボスはアリス・クーパーなんだ。僕はピーター・フランプトンの恋人を誘拐して、彼女を助けにきたピーターやビー・ジーズをぶんなぐっちゃうんだよ。キャハハ(と、大笑い)。

——映画を見るのは好き?

スティーヴン: 大好きさ! ただヒマがなくてね。どんなジャンルのものでもかまわないよ、SF、ハードボイルドなんでも見るよ。映画そのものが好きなんだ。

——俳優になるとしたら、どんなタイプ?

スティーヴン: 僕は他人のふりをするのが、すごくうまいんだ。どんな役でもうまくできると思う。つまり超演技派ってとこだね、ギャハハ(と、大ききわ)。

——好きな女優は誰?

スティーヴン: そりゃ、もちろんシリнда・フォックスさ! 僕のフィアンセのシリндаだよ。(と、言って隣のシリンドの手をギュッとにぎる) 最高の女優だよ。彼女はね、アンディ・ウォーホルの映画に出ているんだ。本当にいい女優だと思うよ。

——最新作『ドロー・ザ・ライン』のことから聞きたいんだけど、レコーディング・スタジオを使わずに、お城で録音したのは、特別な理由があるわけ?

スティーヴン: そうなんだ。そこは昔、尼僧院があった所で、小さな部屋がたくさんあって色々な意味でユニークな試みができたと思うよ。チャペルというところで、録音してみると、思いがけないエコー効果がでたりして、とても良かったよ。

——そのアイデアは誰が出したのかしら?

スティーヴン: プロデューサーのジャック・ダグラスだよ。場所はニューヨーク郊外のロチェスターというところの少し先なんだ。とにかく、アルバムを作るうえで、このアイデアは大成功だったと思うな。

——『ドロー・ザ・ライン』はベスト・セラーになったけど、あなた達エアロスミスにとって、今シングル・ヒットというものをどう考えているのかしら?

スティーヴン: 本当のことを言うと、もうあまりシングル・ヒットのことは気にしていないんだ。なぜかというところとヒット・シングルを出すためには、どうしても曲が商業的になり過ぎてしまうからね。商業的であることが悪いとは思わないけれど、それと僕達の好みは必ずしも一致しないだろう? ——アメリカの次のシングルはもう決まっているの?

スティーヴン: うん、カリフォルニア・ジャムってのがあったら、それがライブ録音されているんだけど、次のシングルはその中から「Chip Away The Stone」ってのがカットされるはずさ。この曲は、リチャード・スパットが作った曲なんだ。彼のこと知っている?

——残念ながら知らないわ。どんな人なの?

スティーヴン: とにかく、すごいミュージシャンさ。自分のバンドを作っているけれど、色々なミュージ

シャンに曲を書いているよ。ジョニー・ウィンターなんかに曲を提供してるんじゃないかな。彼のバンドのメンバー達を含めて、とても親しくしてるよ。彼は、本当に多才なプレイヤーさ。

——友人といえば、エアロスミスのメンバーが、キッスのジーン・シモンズのソロ・アルバムに協力しているってきいたけど本当なの?

スティーヴン: ああ、それはジョー・ベリーさ。僕達がサンタモニカのシビック・センターという所でコンサートを開いた日の夜、ジーンと一緒に夕食を食べたんだ。その後、電話でソロ・アルバムの曲を何曲か聞かせてくれた。仲の良いアルバムになるんじゃないかな。ジーンって野郎はたいした男だよ。

——ジーンは今、恋愛中みたいね。

スティーヴン: そうなんだよ! シビック・センターにやって来た時もシェールと一緒にだったぜ。とにかく、ジーンの彼女への惚れ込みようといったらすさまじいよ、まったく(笑)。俺は、こんなに人を愛したことはないなんて、もうベタボレだよ。(笑)。

——レコーディングの時、スタジオで自分の感覚を出してヴォーカルに集中するのってかなり難しい?

スティーヴン: そうだな、今までニューヨークのレコード・プラントでずっとレコーディングしてきたけれど、それほど難しいと思ったことはないよ。長年やってきたことだからね(笑)。録音中の照明なんかも自分達で調節できるし、やりにくいはないな。——じゃ、どんな風にエアロスミスとして、ひとつのサウンドをまとめていくのかしら?

スティーヴン: メンバーも、それぞれ個人的な好みがあることはあるけど、僕達はもうバンドとして、6~7年も一緒にやってきているから大丈夫さ。個人の好みからくる問題より、今は自分の才能というものに対する自信からくるエゴの方が怖いよ。まア、



『麗しき70年代ロック・スター伝説 8ビートギャグ リターンズ』  
画: シマあつこ 2月26日発売 ¥1,500+税

**SHINKO MUSIC RECOMMEND BOOKS**

『麗しき70年代ロック・スター伝説 8ビートギャグ リターンズ』

70年代のロック・シーン、美形ロック・スターを主人公にしたオリジナル・コミックとして一世を風靡した「8ビートギャグ」が奇跡の復活。ビートルズ(解散直前)クイーン、ベイ・シティ・ローラーズ、グラム・ロック(デヴィッド・ボウイ&マーク・ボラン)、ティーン・パープル他の書き下ろしを加えて大笑いの復活! さらに、著者: シマあつこが多大なる影響を受けたという少女漫画界のレジェンド、『イブの息子たち』『エロイカより愛をこめて』等の作者として知られる青池保子先生との特別対談も収録!

## ロックの殿堂がついに日本上陸!

— アメリカ以外では世界初 —

# ROCK & ROLL

公式SNSもチェック!





オフィシャルサイト <http://rrhfj.com>

ロックの殿堂ジャパンミュージアム

**ロックの殿堂ジャパンミュージアム**  
有楽町インフォス内(無印良品1F奥)  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-8-3

前売 大人 1,800円 / 学生 1,300円  
当日 大人 2,200円 / 学生 1,600円

東京国際フォーラム 1出口

外都通リ

東京交通会館

検索



エアロスミスが『飛べ! エアロスミス』で日本デビューした1975年以降、ドラッグやメンバー脱退などで活動が停滞した80年代、そして劇的復活を遂げてシーンの最前線を再び疾走するまで、その姿を追い続けたミュージックライフの記録を復刻した永久保存版!!

B5判 208ページ  
定価2,857円+税 発売中

ご購入はこちらから  
<https://www.shinko-music.co.jp/item/pid063635x/>

